

教科名 (科目名)	芸術Ⅱ 美術Ⅱ	履修学年	2年	学科	普通科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

美術Ⅰで育成した資質・能力を基に、より主体的・発展的な造形活動を通して、造形的な見方・考え方を一層深め、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①主題の生成から発想・構想、表現に至る過程を深く理解し、意図や目的に応じて独創的に表現するための技能を高めることができる。

②作品や美術文化について、多様な視点からその価値や意味を考え、自己の表現や見方に生かしながら、より深く鑑賞することができる。

③主体的・計画的に美術の活動に取り組み、創造する喜びを深く味わい、美術を通して自己や社会との関わりを見つめ、豊かな生活や文化の形成にかかわろうとする態度を養うことができる。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	造形的な要素や原理、材料や技法の特性について、より深く理解し、主題や意図に応じて適切な表現方法を選択し、技能を高めながら効果的に表現し、制作の過程を工夫し、計画的に完成度の高い作品を生み出すことができる。	主題を主体的に生成し、発想を広げながら独創的な構想を練ることができる。また、作品や美術文化について、背景や文脈も踏まえて多面的に考察し、価値や意味を深く捉えることができ、自分の表現意図を明確にし、試行錯誤を通してよりよい表現へ発展させることができる。	主体的・計画的に美術の活動に取り組み、粘り強く表現を追求しようとしている。また、創造活動を通して自己理解を深めるとともに、他者や社会とのかかわりを意識し、美術や美術文化に対する関心を高め、その価値を生かそうとしている。
評価方法	○学習プリント ○作品	○学習プリント ○作品 ○対話的活動	○学習プリント ○対話的活動

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書 (高校生の美術Ⅱ) 参考作品
学習プリント 動画教材 他

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書と参考作品・動画教材を使って学習を進める。
○表現領域では、技術習得と表現の工夫とのバランスを図りながら学習する。
○鑑賞領域については表現領域とのバランスを図りながら随時学習する。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度	
1 学 期	4月	オリエンテーション 静物デッサン	作品	作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動	
	5月					
	6月	彫刻	作品	作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動	
	7月					
2 学 期	8月	鑑賞	作品 学習プリント	作品 学習プリント 対話的活動	学習プリント 対話的活動	
	9月					
	10月	デザイン (合格祈願のための彫り物制作)			作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動
	11月					
	12月					
3 学 期	1月	絵画（水墨画）	作品	作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動	
	2月					
	3月	鑑賞			学習プリント 対話的活動	